

# 森林の整備



## 木下沢溪谷冒険の森保全活動と環境教育

東京都八王子市



### 事業概要

東京都八王子市裏高尾町にある木下沢下流域の森林を対象に、市民の憩いの場、レクリエーションの場、多くの生物が生息する場として利活用できる森林にしていくことを目的として、次のような活動を行っている。①歩道・遊歩道、ふれあい広場等の整備、②間伐、風倒木の処理・植樹等の森林整備、③裏高尾・木下沢溪谷連絡会議と連携した情報の共有、④自然とふれあい自然を知る行事の企画・提供、⑤イベント参加者による生物多様性に即した環境づくりの実施と学習。

### 事業成果

新しい拠点・整備エリアの周辺生物調査や認知向上に向けたガイドブックの配布も継続して行った。活動によりメンバーのコミュニケーションは活性化した。イベント実施における指導者や協力スタッフの担当制が機能するように

なり、結果、初回参加者や親子の満足度の高い植樹や間伐を含めたプログラムが実施できるようになった。今までの定例活動日に加え臨時の親子体験会を3回、自主作業を3回実施し、参加者は対前年比で4割ほど増えた。自然体験を希求する都市住民に開かれた活動をという思いで、各種安全対策をした上でプログラムを展開できたことは大きな成果と考えている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・普通では体験できない活動ができてうれしい。(リピート参加者)
- ・森の整備をしてみたい。(リピート参加者)

### 参加者の声

- ・サワガニ御殿を作ったのが楽しかった。(小学生)
- ・木を植えたのが楽しかった。(小学生)
- ・雪の滑り台が楽しかった。(小学生)



植樹



下刈り



間伐



水生昆虫観察

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.2ha  
 植付本数：140本  
 下刈面積：0.2ha  
 除伐面積：0.7ha  
 間伐面積：0.4ha  
 作業道整備：400m  
 生物調査：10回  
 イベント：15回

#### 参加者数

都内：506人  
 都外：102人  
 計：608人

#### 樹種

オニグルミ、トチノキ、ヤマグリ、コナラ、エノキ、ヤマザクラ、イタヤカエデ

## 富士山緑の募金の森造成事業

静岡県富士宮市



### 事業概要

平成8年9月の台風7号は、富士山南東斜面に風倒木など甚大な被害を与えた。本被害箇所の復旧を目的に開始された事業であり、国土緑化推進機構が提唱する「国民参加の森林づくり活動」の場として多くの森林ボランティア団体に呼びかけ、今日まで実行委員会方式で緑の募金中央事業として実施している。

### 事業成果

平成12年度より植栽したヒノキ人工林エリア(16.85ha)の計画的な請負(富士森林組合)による保育間伐を今年度初めて実施した。また、植生調査等を継続するとともに、定期的に巡視等を実施した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・台風被害跡地への植栽開始から20年が経過し、ヒノキ林、広葉樹林ともに順調に生育しているものの、一部、シカによる森林被害が見られる。



毎木調査



間伐



下刈り後



ツル切り

### 実績とりまとめ

**作業内容**  
 間伐面積：3.01ha  
 保全巡視：3,100m  
**参加者数**  
 県内：58人  
 計：58人



## 「大阪府ENEOS友好の森」森林整備事業

大阪府太子町



### 事業概要

手入れが行き届いていない私有林（スギ・ヒノキ）の間伐作業を行う。その際、専門家の指導を受け、安全面に留意しながらENEOS(株)社員が協力し合い、間伐の方法、道具の扱い方を覚える。また、森林を手入れする意義を学び、同時に子ども向けに間伐材を用いた木工教室で健全な森林の育成の意義を学んでもらう。

### 事業成果

意識して国産材を消費することが、日本の山を健全に保つことに繋がるという意識を持っていただけた。子どもたちにも国産材を意識して使うことが重要ということを伝えることができたと感じている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・コロナの影響もあり、ほぼ2年ぶりの開催であったが、事故・怪我等も無く、間伐体験、木工体験を実施できた。参加された方々は、それぞれ良い体験になったのではないかと。(40代指導員)

### 参加者の声

- ・3年ぶりの活動だったが、非常に素晴らしい活動だった。木工教室も貯金箱以外のアイテムも増え、工夫をしていただき感謝。また開催されることを願っている。
- ・子どもたちもとても楽しんでいて、他の参加者の家族とも親交を深めることができ、とても良い機会だった。
- ・子どものアクティビティーを設けていただくなど、家族持ちにとって、とても貴重な体験をさせていただいた。



伐倒する木にロープをかける



間伐体験



巣箱づくり



参加したみなさん

### 実績とりまとめ

作業内容  
間伐面積：0.7ha  
参加者数  
府内：72人  
計：72人



## 湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業

神奈川県湯河原町



### 事業概要

湯河原町の協力を得て進める(株)日本触媒・湯河原万葉の森は、下流には町の浄水場があり重要な水源林である。そのため、水源林として下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりを目指すとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解を深める体験活動を行うものである。主な活動は、間伐、水源整備、自然観察会等。また、この事業は企業のCSR活動を行うために、企業の要望に沿う形で活動内容等を計画している。

### 事業成果

3年ぶりに社員が(株)日本触媒・万葉の森に来る活動ができた。3年ぶりの活動ということもあり、初めて森に来た社員をターゲットに森の紹介・自然観察を行って、リフレッシュできたとお声を頂戴した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・森林整備活動は継続性が求められる。湯河原万葉の森は針葉樹人工林が主な植生で、作業が単調になる傾向があるため、企業様の要望を伺いながら活動内容を検討したい。当面は、開所記念に植樹した少花粉スギの枝打ちや間伐などの保育作業と、2年目に植栽したクヌギ・コナラの森に苗床で育成中の実生の苗を植栽して、広葉樹の森にしていきたい。(森林インストラクター)

### 参加者の声

- ・都会の喧騒の中で日常を過ごしている私にとって、木々に囲まれ、舗装のない道を探索した今回の活動は、忘れていた童心を思い出すかのような体験となり、自然の素晴らしさを再認識することができた。



枝打ち作業



リースづくり



自然観察



活動に参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

クリスマスリースづくり：1回

自然観察会：1回

#### 参加者数

計：37人

## 南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業

神奈川県南足柄市



### 事業概要

緑の募金に協力する住友三井オートサービス(株)の森づくり体験活動が円滑に推進し充実した成果を上げるため、当財団の森林づくり活動に係わる蓄積したノウハウを活かし、活動計画の作成、それに基づく森林整備や環境整備、森づくり活動の指導などを行う。今年度は事務局によるベンチづくりと社員が集まり林内整備や間伐作業を行った。

### 事業成果

新たな試みとしてCO<sub>2</sub>吸収量の算出方法をミニ講座で行い、今後徐々にこの森全体のCO<sub>2</sub>吸収量を図っていくことを定番作業としていくこととした。また、二人挽きノコギリの体験をしてもらったところ好評で毎回の定番作業となった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・5年続いてきた活動は、毎回活動の打合せを行っている。今後とも企業事務局または参加者から感想、課題、今後の希望などを聞き取って、要望に沿う形でメニュー提案を行っていきたい。また、今年度より開始したCO<sub>2</sub>吸収の森林調査活動は、昼休みに行ったミニ講座から発展したものであり、参加企業のCSRの志向にもマッチしているため今後も継続的に調査を実施したい。(森林インストラクター)

### 参加者の声

- ・カマを使った作業は初めてだった。下刈りが完了した所が開けてきれいになった姿を見て達成感を感じた。また参加できたらと思う。



間伐作業



森林調査



チェーンソーアート



活動に参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

- 間伐面積：0.01ha
- 林内整理：0.05ha
- 森林調査：0.04ha
- 記念コースターづくり：1回
- ノベルティ作成：1回
- ベンチづくり：1基

#### 参加者数

計：117人



## トトロの森と狭山丘陵周辺緑地での里山保全事業

埼玉県所沢市、入間市、東京都東村山市、東大和市、武蔵村山市、瑞穂町



### 事業概要

生物多様性保全を行うため里山環境を再生し、この様な活動を普及し、経済・人員の支援に繋げ、持続的な里山管理を目指す。主な活動は以下のとおり。①里山管理ボランティア「何かし隊」、地域の協力団体を中心とした里山管理作業。各団体の自立に向けた基盤整備として、作業道具の購入、貸出しなど。②危険・支障木等の処理を職員または外部委託にて処理。より自前での作業ができるよう、ツリークライミングによる伐採講習を職員が受講。③新たなボランティアとそのグループ確保のためのトトロのふるさと基金の活動の理解と普及啓発活動。④裸地化の土地は、所沢市、地域の学生とともにアカマツの植樹活動を実施。⑤ナラ枯れによる森林の荒廃を防ぐため、トラスト地全域の定期状況調査を行い、トラップなどを使った対策と将来的なナラ枯れ対策として萌芽更新伐採作業。⑥新たに取得した森については、適切な管理作業を行うため、生物調査の結果を元に管理方針・計画を作成。生物調査に伴って必要

になる機材を購入し、調査技能向上のための講習会に参加。

### 事業成果

良好な資材等の購入により安全に活動を継続。レベルアップしたツリークライミングによる伐採講習の受講で、技術的なステップアップもできている。また、様々な活動より、さらに新たなボランティアの協力と新規トラスト地取得へと繋がるお話も得ることができている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・活動には、管理作業用の道具やその手入れや修繕が欠かせない。市民が自然の価値を感じながら森に関与、手入れしていくためにも必要な事業。(当基金理事50代)

### 参加者の声

- ・活動は都市化の進んだ現代の日本社会の中で、自然との共存を実現するための知恵と技術を実体験を通して身に付けることができる貴重な機会。(何かし隊男性)



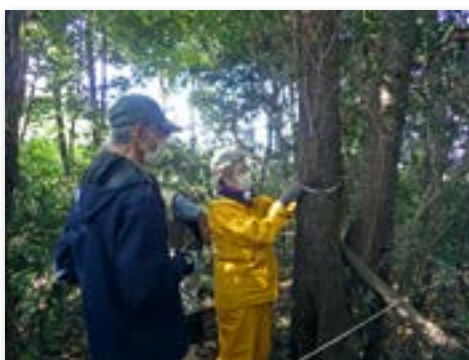
「何かし隊」による下刈り



ナラ枯れ対策用トラップのメンテナンス



ツリークライミング・樹上枝払い講習受講



樹木調査

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.02ha  
 植付本数：22本  
 下刈面積：7.2ha  
 除伐面積：7.7ha  
 間伐面積：7.7ha  
 ナラ枯れ調査：96回  
 看板修理・作成：3基  
 萌芽更新伐採、危険木伐採ほか

#### 参加者数

計：916人

#### 樹種

アカマツ



## 玖珠町ふれあいの森づくり事業

大分県玖珠町



### 事業概要

多くの町民並びにENEOS(株)社員ボランティアの参加を募り、大分玖珠地域の里山に生物多様に富む豊かな生態系と美しい景観を創出し、人と森との共生する文化の創造に資する。

### 事業成果

コロナ感染予防のため、ボランティア活動は実施できなかったが、活動地域を健全な山林として維持するための森林整備はできた。



下刈り



原木管理



防獣ネット補修



ツバキを植樹

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：7本  
 下刈面積：2.98ha  
 原木起し・伏せ込み：200本  
 シイタケ駒打：3,000駒  
 防獣ネット補修ほか：120m  
 肥料散布：5kg

#### 樹種

ツバキ

## さいたまの森林づくり支援事業

埼玉県越生町、ときがわ町、三芳町、小川町、桶川市、さいたま市



### 事業概要

県内において森林ボランティア体験事業（植樹、間伐、下刈り）を実施する企業や学校等に対し、安全に活動できるよう支援・指導する。これにより地球温暖化防止のための森林整備が進み、国民参加の森林づくり運動に寄与することを目的とする。

### 事業成果

今年度は、企業の森林ボランティア体験を含め、学校等の体験学習の森林活動（植樹、間伐、下刈り作業等）の支援・指導を実施し、参加者が森林に親しみながら森林の循環利用や森林の多面的機能について学ぶことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・都市部の企業がボランティア体験により森林整備活動を行うことは、森林にふれあう機会が少なくなっている昨今、参加者に森林の大切さを知ってもらう良い機会である。また、コロナ禍で学校生活に制限が続く中、小学生が自然の中で体を動かしながら森林作業を体験することは、森林に興味を持つきっかけとなったのではないかと思う。（埼玉県緑化推進 関係者）

### 参加者の声

- ・雑木林は、300年以上も続く循環型農業の手助けの一部を担っていることに感激している。来年も元気に参加したい。（参加者）
- ・植樹したヤマザクラに花が咲くのがとても楽しみ。（小学生）



間伐



植栽



企業の森林ボランティア体験



活動に参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：15本  
 下刈面積：1.6ha  
 除伐面積：3.3ha  
 間伐面積：5.3ha  
 森林調査：2.0ha  
 落葉掃き、コースターづくり

#### 参加者数

県内：322人  
 県外：66人  
 計：388人

#### 樹種

ヤマザクラ



# 多様性を高めるモデルフォレストづくり「フォレスト21さがみの森」

神奈川県相模原市



## 事業概要

森と人の関係を再構築し森づくりの輪を拡げ、持続可能な社会の基盤となる生態系豊かな森をつくりながら、活用する事業の展開を目指す。本事業を市民参加によるモデルとして発信し、国内における放置人工林をはじめとした森林への関心離れへの解決に結びつけたい。主な活動は、①生物多様性や地域の環境に配慮した森づくり活動、災害に強い森づくりの推進、②健全な森づくりのための知識・技術のスキルアップ、③初心者や子ども向けの森林環境教育や、森林サービス産業の創出に向けた活動、④森林環境の中で心身をリフレッシュできる活動など。

## 事業成果

「人工林の多様性を高める森づくり」を実践していくため、

ナラ枯れ林での間伐・補植、ナラ枯れ被害拡大防止のための防止テープ貼り作業、土壌流失を防ぎ表土の草を育てる土留め、獣害対策ネットの設置などを行い、より多様性のある森林へと着実に進めることができた。

## 事業をよく知る関係者の声

・ナラ枯れ対策に注力されたおかげで、数本の大木の倒木を防げた。今後も安全には配慮した形で、ナラ枯れや獣害対策に力を入れてほしい。(森林管理署森林官)

## 参加者の声

・かなり細い道を上ったので若干怖かったが、良い景色とフィールドだった。間伐などできれいに整えられて、木は生き生きしていた。染物イベントも楽しめた。(50代男性)



ナラ枯れ対策



道づくり



植樹地の下刈り



枝打ち

## 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積：0.02ha  
 植付本数：50本  
 下刈面積：0.4ha  
 除伐面積：1.0ha  
 間伐面積：0.01ha  
 枝打ち本数：246本  
 獣害対策：5回  
 ナラ枯れ対策：3回  
 道づくり、キノコづくり、染物体験

### 参加者数

県内：128人  
 県外：184人  
 計：312人

### 樹種

コナラ、モミジ、クヌギ



## 協働によるSDGsの森づくり事業

宮城県利府町



### 事業概要

コロナ禍により自然体験の機会が減少しているため、企業等との協働により安心して活動できる森を整備し自然体験を普及することを目的として、ENEOS(株)とともに整備活動を行うだけではなく、県内の親子や小学生、県外の中校生に対する自然体験イベントを開催した。また、地域ボランティアの充実を図るため森づくり講習会を実施した。

### 事業成果

ここ数年停滞していた学校参加による森づくりイベントの件数が、コロナ禍前と遜色がない程増えた。また天候にも恵まれ、協力企業ボランティアによる作業イベントは予定どおり実施できたことで、延べ1,000名以上のボランティアとともに、整備作業を行えた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・作業やイベントを通して、コロナ禍で久しく会えていなかったボランティアにも会えるようになってうれしかった。(50代ボランティア)
- ・枯損木処理も大切だが、夏の暑さを避けたり、風通しを良くしたりするために植樹地の枝打ちや間伐も積極的に実施していく必要があると思った。(70代ボランティア)

### 参加者の声

- ・子どもたちが楽しめるようにいろいろな活動が準備されていて良かった。自然観察は大人でも勉強になることが多かった。(親子ボランティア保護者女性)
- ・自分で切った木を杖とかにしたのが楽しかった。(小学生ボランティア男子)
- ・今年は予定どおり活動ができ、自分たちが植えた木の成長をより感じる事ができた。(協力企業ボランティア男性)



植樹



活動に参加したみなさん



枯損木処理



遊歩道整備

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：1.2ha  
 植付本数：246本  
 樹勢回復：103本  
 下刈面積：3.1ha  
 除伐面積：3.0ha  
 間伐面積：0.3ha  
 森林資源活用：3回  
 クラフト体験11回  
 遊歩道整備：95m  
 イベント・チェーンソー研修ほか

#### 参加者数

県内：1,001人  
 県外：63人  
 計：1,064人

#### 樹種

クルメツツジ、ヒノキ、オオシマザクラ、カラタチ、キブシ、サンショウほか

## 「キリン千歳水源の森」整備の森づくり

北海道千歳市



## 事業概要

平成19年に北海道森林管理局石狩森林管理署管内国有林に設定された「キリン千歳水源の森(法人の森)」を整備するための活動として、枝打ち、ツル切り、除伐作業を実施した。

## 事業成果

参加したキリンビール(株)社員は、枝打ち作業によって林分が随分明るくなったことに満足している様子であった。植栽木が大きくなり、除伐作業はかかり木になることが予想され、社員の手鋸による作業は中止し、専門業者に委託した。結果、安全に除伐作業を実施することができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・整備対象のアカエゾマツ造林地の植栽木は、活動当初(平

成18年)の樹齢は20～23年であった。それから17年生育した林分は、胸高直径も樹高も大きくなり、10年前に枝打ち、除伐した林分も暗くなってきて林床に樹木の更新が少なく草本類の侵入が少ない。混み合っ腐れが入っている植栽木も見られるようになってきている。これまで整備してきた林分の間伐と未整備林分の早期整備が生物多様性の観点からも必要ではないかと考えられる。(林業技士会会員＝樹木医)

## 参加者の声

- ・参加社員の中に枝打ち作業を初めて体験する者が何名かいたが、枝打ちの目的を理解し、手鋸作業に真剣に取り組んでいた。また、作業終了後、林内作業道に絨毯のように生えているシダについて、当会がシダの種類ごとに名札をつけて説明したところ全員が感嘆していた。



枝打ち作業



コケ類の名札をつけて説明



除伐作業



参加したみなさん

## 実績とりまとめ

## 作業内容

除伐面積：0.04ha

枝打面積：0.06ha

## 参加者数

道内：40人

計：40人



## 「安曇野エア・ウォーターの森」森林整備事業

長野県安曇野市



### 事業概要

エア・ウォーター(株)は関連事業地が安曇野市にあるため、市内での森林保全に貢献していきたいと考えていた。そこで、市役所と森づくり協定を締結。5年計画の2年目となる事業では主に以下の活動を実施。①下刈り／1年目に植栽したエリアの苗木周りの雑草の刈り取り。②伐採・地拵え／3年目に植栽するエリアの伐採と地拵えを実施。エア・ウォーターの従業員による実施が1回。専門業者による重機使用によるものが1回。

### 事業成果

更新時期にあるカラマツ林の伐採と地拵えを行えたことで、次年度の植栽の実施につなげることができた。地元自治体との合意形成もさらに円滑となり、地域の緑化支援の

一助となっている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・今年も30名を超えるボランティアと活動を行えたことは、とても有意義なことだと思う。(行政職員)
- ・順調に生育しているミズナラを見ると、活動地に適した樹種を選択していると実感できる。(林業士)

### 参加者の声

- ・1年目に植栽した苗木の大半がきちんと根付き、成長している様子を見ることができ、活動の達成感が高まった。(ボランティア参加者)
- ・今回は伐採作業に参加。植えたり刈ったり、多様な作業メニューが楽しい。



下刈り作業地



エア・ウォーターの従業員による伐採・地拵え



専門業者によるアカマツ伐採・地拵え



参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈り面積：0.3ha

除伐面積：0.4ha

#### 参加者数

県内：38人

県外：3人

計：41人



## 「赤西溪谷・水源の森」保全事業

兵庫県宍粟市



### 事業概要

兵庫県宍粟市の「赤西溪谷」において森林整備などを行うことにより、環境林、水源涵養林を保全するとともに、併せて自然保護、生物多様性について理解を深める。これまで企業及び森林管理署と協働して15年間活動を行ってきたが、今年度より(特非)ひょうご森の倶楽部単独で活動を継続することになり、以下の活動を実施した。①令和5年4月に会員12名で現地を訪問。雪害の影響などの現状確認と整備、自然観察を実施。②令和5年8月に会員6名で現地を訪問。企業による活動地跡の原状復帰状況を確認。③令和5年10月に会員と家族、その他環境団体が参加し、「赤西溪谷ツアー」の自然観察を実施。ツアーに先立ち現地林道の通行支障物の除去を実施。

### 事業成果

コロナ禍前の令和元年以来4年ぶりの「赤西溪谷ツアー」を実施。参加者は生物多様性と環境保全の重要性について

理解を深めることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・弊社が植樹したエドヒガンが順調に生育し、花を咲かせるのも遠くなさそうとの報告を受けたことが大変うれしい。今後も弊社の分まで水源の森とエドヒガンを見守っていただきたい。赤西溪谷での経験を活かして、会社としての成長にもつなげていきたい。(前年度まで参加の企業担当者40代女性)

### 参加者の声

- ・初めて訪れた赤西溪谷は、新しい出会いもあり、たたら場、森林鉄道などの歴史や、巨木の先代杉に感動。山野草の花の季節、秋の紅葉、川の生き物観察も楽しそうで、機会があれば再訪したい。(ツアー参加者60代女性)
- ・溪谷の美しい景色や、六甲付近ではあまり見られない植物が多く、感動した。最後にオスジカが見送ってくれ、最高の一日となった。(ツアー参加者60代男性)



遊歩道の倒木処理



2016年植樹地の状況確認



赤西溪谷ツアー自然観察



赤西溪谷ツアーに参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

現地確認・整備作業：3回  
自然観察：2回

#### 参加者数

県内：42人  
計：42人

## 日本曹達グループの森づくり事業

新潟県上越市



### 事業概要

日本曹達グループ起業の地である新潟県上越地域の「くわどり市民の森」内で、地域に貢献するため、新潟県民・上越市民に親しまれる森づくりを実施する。本年度は、森林整備（除伐、下刈り）と植樹を実施した。

### 事業成果

森林整備とモミジ20本、ウワミズザクラ30本を植樹した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・上越市や公園指定管理者からの要請に応え、森林整備を推進することができ、とてもありがたい。

### 参加者の声

- ・技術や経験を通じて地域に貢献できて良かった。（日本曹達グループの森づくり推進協議会の構成員）



除伐



下刈り



モミジ、ウワミズザクラを植樹



支柱を立てる

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.02ha

植付本数：61本

下刈面積：0.2ha

除伐面積：0.9ha

#### 樹種

モミジ、ウワミズザクラ



## 木曾川・やおつ水源の森づくり活動

岐阜県八百津町



## 事業概要

目的は、木曾川流域に生活する住民に潤いと安らぎを与える自然豊かな水源の森を整備し、水源涵養機能を充実するとともに、森林生態系や生物多様性について学ぶことである。主な活動は以下のとおり。名古屋駅前高層ビル群や奥三河の山々が一望できる海拔500mの高原を会場とし、下流域にて生産活動を行うキリンビール(株)名古屋工場の従業員と家族や流域に生活する地域住民及び地元住民が協力し合い、サクラの間伐、地域内の遊歩道の補修作業、下刈りなどの活動を行うとともに、間伐材を利用した箸づくり体験などを実施している。

## 事業成果

今年度もキリンビール(株)名古屋工場からのボランティア参加の交流を含めた整備事業は中止したが、春秋に地元ボランティア団体、一般ボランティアによる下刈り作業を実

施した。夏と秋に業務委託による下刈りを実施し、水源の森の保全、整備を行った。11月には、サクラの木の勉強会を実施し、知識、技術を身に付けてもらった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・年2回の環境整備活動とサクラの勉強会を実施することができて良かった。事業を継続していくことが大切であるため、小規模でも引き続いて事業を実施したい。(50代男性)

## 参加者の声

- ・前日までの悪天候によって1回目の作業は実施できるか心配があったが、当日には天気が回復して予定どおり作業ができて良かった。下刈り作業が終了し、きれいになった水源の森へたくさんの方に来てもらいサクラの花の時期や緑いっぱい自然を肌で感じてほしい。(60代男性)



下刈り



下刈り作業に参加したみなさん



サクラの勉強会



サクラの勉強会に参加したみなさん

## 実績とりまとめ

## 作業内容

下刈面積：8ha  
サクラの勉強会

## 参加者数

県内：134人  
計：134人



## 松川浦海岸防災林（相馬市大洲国有林）の再生に向けた活動

福島県相馬市



### 事業概要

目的は、東日本大震災により被災した海岸防災林を再生すること。主な活動は以下のとおり。①盛土された海岸防災林の区画にクロマツの植樹を行う。②植樹したクロマツの健全な成長を実現するために下刈り・除草等を行う。

### 事業成果

平成28年から植樹した3区画で伸びていた雑草の下刈り・除草を行うことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・コロナの感染状況が心配されたが、日帰りバスも密にな

らないようにすること等の対応を行った。

### 参加者の声

- ・東北の復興に役立つことができた。次の世代のためにクロマツの成長を期待したい。
- ・根が張った下草があり、マツも生育が大変。白い砂と緑の松川浦海岸が戻るのが楽しみ。
- ・震災が発生したのは参加した学生が小学生の頃。記憶・感覚が少し曖昧になっている部分があったが、今回の参加により被災状況を実感し東北支援への思いと活動の重要性を共有することができた。



クロマツ周辺の下刈り



クロマツの成長の様子



下刈りに参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：0.43ha

#### 参加者数

県内：12人

県外：26人

計：38人

## 山武市蓮沼殿下海岸林の植栽事業

千葉県山武市



## 事業概要

津波被害によって失われた海岸林の機能回復を目指し、企業及び市民ボランティアの連携・協力による植林を実施。また、植林の前に枯損木の伐採と敷均し、地拵えを行った。

①植林：0.4haに4,000本の植林。樹種は千葉県指定の抵抗性クロマツ。②地拵え：津波の塩害等により立ち枯れてしまっている木々を伐採・破碎・敷均し、地拵えを行い、植林ができる環境を整備。

## 事業成果

蓮沼殿下海岸林での新しいエリアに着手した。SDGs、ESGといった企業の外部環境に即した募金活動との連動によって事業を進めていくことができたことは、新しい時代の森林ボランティアモデルと思われる。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・2012年の最初の植林からボランティアへの対応をしてい



1日で植える2,000本の抵抗性クロマツ



植樹箇所を支柱を設置



ていねいに植樹



参加者が力をあわせて植樹達成

るが、参加者にきちんとした作業をしてもらっている。初めて参加される方にとってはハードルが高い作業量かと心配することもあるが、植えきっているの、達成感を提供できていると思う。

- ・10年続けられていることが素晴らしい。初期に植えた苗木の成長がうれしい。

## 参加者の声

- ・社員からも非常に好評で、参加して良かった！との声をたくさん受けている。また、子どもたちにとっても植樹は、記憶に残る経験になったのではないかと思います。(企業担当者)
- ・植林活動は非常に楽しく、あっという間の2,000本の植林だった。下刈りもぜひ参加させていただければと考えている。(企業担当者)

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積：0.4ha  
植付本数：4,000本  
枯損木の伐採、敷均し、地拵え：0.4ha

## 参加者数

県内：46人  
県外：118人  
計：164人

## 樹種

抵抗性クロマツ



## 「岩沼・荒浜潮除須賀松の森」保育事業

宮城県岩沼市、仙台市



## 事業概要

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた仙台市沿岸域の海岸防災林の再生に向けて、地域住民等との協働により保育活動を行いながら、失った「みどり」の重要性やその働き等への理解と関心を深めてもらう。そして、海岸防災林再生に対する気運の醸成と、「みどりの文化」の普及啓発を図る。

## 事業成果

子どもたちや生徒、企業の参加を促すことに力点を置いた。子どもたちが夢中になって楽しく元気に草取りやツル取りに励む姿は印象的であった。活動に全面的に協力をいただいた団体が創意工夫を凝らして、被災地の自然環境の回復状況の観察やビーチコーミングなどの体験学習を行ってくれたこともあり、引率教員からは「充実した活動」との感想と来年度も引き続き活動したいとの要望をいただいた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・校外学習前に、防災林が、震災の津波で流されてしまったことを学習していた子どもたちは、新しく植樹されている防災林を見て「すごい!またあの時のように戻ってきている」と話していた。子どもたちは自分たちも力になりたいと一生懸命除草活動に取り組み、「また絶対来たい!」と話していた。荒浜との繋がりが生まれうれしく感じた。今後の防災学習に力が入りそうで、貴重な体験に感謝している。(小学校5学年担任)

## 参加者の声

- ・防災林を育てるには手間と時間がかかる。雑草抜きなどをして防災林を大きく丈夫に育てたい。(小学生高学年)
- ・1年1年の成長の大切さとその成長を50年続けて初めて大きな防災林になることの大変さを知り自然の偉大さを感じた。(40代女性)



仙台大学付属明成高校3年生ほかによる海岸防災林保育活動



一般公募による親子で海岸防災林保育活動



次代を担うボーイスカウト・企業協働の海岸防災林保育活動



次代へつなげよう海岸防災林再生に向けた県民協働の保育活動

## 実績とりまとめ

## 作業内容

保育面積：2.18ha  
イベント：5回

## 参加者数

県内：427人  
計：427人

## 3.11 復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼殿下海岸林再生事業(下草刈り)～

千葉県山武市



## 事業概要

津波被害によって失われた海岸林の機能回復を目指し、地元と都市の住民、企業ボランティアとの連携・協力による市民参加型の森林整備事業を行った。活動は、千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林における津波被害林の再生として、以下2つのエリア、合計2.4haを対象に下刈りを実施した。

エリア1：2011年から14年計画で2022年春の植林で新規植林を終え、2025年まで下刈り等の保育を継続(面積2ha)。

エリア2：2023年春の新規植林後に、下刈りを実施(面積0.4ha)。

## 事業成果

蓮沼殿下海岸林での新しいエリアに着手した。SDGs、ESGといった企業の外部環境に即した募金活動との連動によって事業を進めていくことができたことは、新しい時代の森

林ボランティアモデルと思われる。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・雨不足による焼けや地下水の上昇により苗木の根腐れが一部、散見されている。自然事象であるので仕方ない面があるものの、面積が広がるようであれば、ラクウショウやヤナギなどの水に強い樹種の補植も検討していく必要がある。(樹木医)

## 参加者の声

- ・下刈りはとても大変である。しかし、ビフォーアフターが明確なこともあり、達成感の面から考えるとまた参加したくなるプログラムである。(企業担当者)
- ・コロナ禍で思うようにボランティア参加ができなかったが、久しぶりに参加できた。暑かったがあっという間の3時間であった。(企業担当者)



下刈り



みんなで守る海岸防災林



下刈り前



下刈り完了

## 実績とりまとめ

## 作業内容

下刈面積：4.8ha

## 参加者数

県内：88人

県外：222人

計：310人



## 3.11 復活の森づくり～千葉県一宮町東浪見海岸林再生事業(下刈り)～

千葉県一宮町



### 事業概要

オリンピック終了後の海岸林造成の早期達成のため、2022年4月に植栽したエリアの下刈りを実施。

下刈りエリア：8m四方の竹簀(64㎡)・150区画、9,600㎡に植栽した7,350本の苗木の生育を図るため、海岸林所有者の千葉県の森づくり計画に応じて2度刈りで実施(6月～7月上旬に1回、8月下旬に1回)。下刈りの総面積は、1.92ha。竹簀外周の下刈りも実施。

### 事業成果

夏の早い時期に1回目の下刈りを実施したことで、雑草と苗木の成長の競争が生まれ、苗木の成長度合いを高めることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・植栽の翌年の苗木としては、十分すぎる生育状況だと思われる。
- ・ていねいに植え付けているので、下刈り作業もていねいに行うことで、海岸林の公益的機能の向上に繋がっていく。
- ・来年の下刈り時期も、今年度同様に6月からスタートさせていくのが好ましいと思われる。

### 参加者の声

- ・自分たちで植えた苗木の成長を確認できると、とてもうれしく思う。暑い時期の取り組みになるので大変だが、また来年も参加しようと思う。



下刈り



参加したみなさん



下刈り前



下刈り後

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈り面積：1.92ha

##### 参加者数

県内：56人

計：56人

# 佐渡いやしの杜づくり

新潟県佐渡市



## 事業概要

佐渡の2地区①赤泊地区（榎の木、五所神社、法乗坊のエドヒガン）、②金井地区（ゆずる公園）の森の生物多様性（神社の天然記念物の御神木や境内の植生、古榎木、水芭蕉・雪割草・カタクリ・原生林・放置林など）と伝統文化を保全することを目的とする。同時に子どもや市民・障がい者・高齢者・社会的弱者が森での活動に主体的に参加しやすい環境をつくるボランティア活動を実施した。

## 事業成果

資源活用の拡大で、150kgのカヤの実を活用できた。「森のようちえん・学校」、「障がい者の職業訓練」の活動拠点の整備が進んだ。農林福連携モデルの構築が進み、2つの障がい者支援団体と連携できた。ワークショップや少人数研修などで、林業専門家などが指導者として、ボランティアを育成した。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・障がいを持つ青年たちは、大変楽しみにして参加しており、自尊心や自信、作業能力も高まった。ASDなどの障がいを持つ青年の協調性も高まった。精神・体力面で大きな効果を感じたので、研修の日数を増やしていただきたい。（就労支援施設チャレンジド立野 代表）
- ・他団体や、新潟など佐渡島島外の指導者との協働は、今までの視点や切り口とは異なる障がい者支援のあり方を考え、トライすることができた。林業などの専門家と自分たちのような障がい者支援が協働することの可能性は大きいと思う。（就労支援施設あんの家職員）

## 参加者の声

- ・就労支援施設では体験できない様々な研修を体験でき、やりがいもあり、楽しかった。（障がいを持つ青年）
- ・体を使って力一杯働いたので、ストレスが発散でき、ポジティブに考えることができるようになり、夜ぐっすり眠ることができるようになった。（心の病を持つ青年）



環境改善勉強会



環境改善ワークショップ



参加したみなさん



飲み水を沢から取水するための環境整備

## 実績とりまとめ

### 作業内容

樹勢回復：4本  
 下刈面積：6.2ha  
 除伐面積：2.1ha  
 間伐面積：0.8ha  
 薪・炭づくり、竹林整備：0.9ha  
 森の学校、環境整備

### 参加者数

県内：317人  
 県外：55人  
 計：372人



## 世界文化遺産プレアビヒア寺院地域の森創り

カンボジア王国・プレアビヒア州エコビレッジ地区



### 事業概要

カンボジア国内の過去の内戦や2013年まで続いた隣国タイとの国境紛争により荒廃したプレアビヒア寺院地域の森林回復を通じて、世界遺産を保全し観光を担う地域再生を行う。主な活動は以下のとおり。①「美しい森」植樹チーム(現地住民代表、現地生徒代表、日本ボランティアを含む)の活動支援、②地域植樹祭の開催と1,000本の植樹実施(住民、学生、行政代表の参加)、③2,000本の植樹活動実施、④通年の養生管理実施(住民による除草、乾季の給水活動、成長記録作成)、⑤維持管理研修会の開催。

### 事業成果

住民、学生、行政の参加者とともに、公共用地(エコパーク及びパゴダ用地、幹線道路沿線)に3,000本の木を植樹できた。学校やパゴダ区域は子どもたちの通学路にも隣接しており、子どもたちは活動を通じて樹木の成長を観察し、環境回復の経験が得られた。今後も継続した植樹を計画して

おり、地域の重要な活動となった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・維持管理(下刈り、乾季の給水活動など)は、2カ月に1回の頻度で開催が必要だが、対象面積が4haもあり多くの住民の参加が必須。特に雨季(6~10月)は雑草の成長が早く少人数での実施は労力が不足する。パゴダ管理チームとの共同も検討課題。(30代政府職員)
- ・植樹は、地域一体となって共同して実施するのが望ましい。(40代パゴダチーム代表)

### 参加者の声

- ・みんなと参加できて良かった。木が育った時が楽しみ。(中学生)
- ・エコパークだけでなく家の周りも木を植えて大きくしたい。(30代農家の住民)
- ・大人も子どもも役所も警察も一緒にできたのが良い。今後も積極的に参加したい。(30代住民)



植樹際の様子



コキ、メンガ、ケランジイを植樹



下刈り作業



維持管理の勉強会

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：4ha  
植付本数：3,000本  
下刈面積：4ha  
除伐面積：4ha  
勉強会：1回

#### 参加者数

国内：299人  
国外：5人  
計：304人

#### 樹種

コキ、メンガ、ケランジイ

## 北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動

岩手県八幡平市



### 事業概要

目的は、旧松尾鉦山跡地における緑の再生を目指し、かつて実施した植樹後の苗を定着させ、次の樹種への遷移を促すために育樹を行うこと。主な活動は以下のとおり。①2016～2017年度に実施した植樹苗(アキグミ)の剪定、追肥、枯損苗(ナナカマド、ハウチワカエデなど)に対する補植(ミズナラなど)を実施。②団体参加の高校生に事前学習として森林の役割やその保全の意義について伝え、活動協力への意欲を高める。

### 事業成果

コロナ禍前の参加者数に近い状態で活動を実施でき、過去に植えた1,100本を予定どおり育樹できた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・団体参加者には、育樹活動の手引きを記したしおりの配布のほか、現地において作業グループのリーダーに対する作業手順の説明をしており、作業のコツを手際良く理解できるという点において評判が良い。今後はリーダーだけでなく、より多くの参加者にも現地での適時助言ができる体制を整えたい。

### 参加者の声

- ・団体参加の高校教諭から、剪定バサミなど刃物の扱いについて、教諭向けに事前に実物を使って助言させていたことに対して、評価をいただいた。



育樹



補植



育樹作業の指導



記念写真

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.32ha  
 植付本数：220本  
 樹勢回復：1,100本  
 下刈面積：0.3ha

#### 参加者数

県内：131人  
 県外：560人  
 計：691人

#### 樹種

ミズナラ、アキグミ



## 行者の滝周辺「癒しの森」創造植樹

宮城県栗原市



### 事業概要

名所の「業者の滝」近くに荒涼とした残土置き場がある。この残土置き場を草木の茂る場所にし、人々が憩いの場所として立ち寄りれる「癒しの森」を作る。主な活動は、下刈り、植樹、保育作業、イノシシ被害防止対策、排水路整備作業などである。

### 事業成果

イノシシ対策をキラキラテープやタケのバリアで行ったことにより、イノシシの被害が激減した。地元の協力者の知恵が功をなしたと思われる。また、排水路が毎年雨の影響で浅くなるので、掘り下げる作業が必要であり、今年度もさらに排水路を増やしたことで水害から苗を守ることや

イノシシ対策にもなった。また、水路を増やし排水を良くしたことで追加の植樹も行い、翌年に苗の活着も確認できた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・わざわざ仙台から作業に来てくれることに感謝。地元でももっと協力したい。(栗原市長)

### 参加者の声

- ・何度か参加しているが、参加の度に下刈り面積が増えているので驚いている。
- ・機械で下刈り作業を行っているが、広すぎてなかなか刈りきれない。
- ・植樹した苗が育つのが楽しみだ。



下刈り



育樹



参加したみなさん



キラキラテープでイノシシ対策

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.4ha  
 植付本数：360本  
 下刈り面積：2.4ha  
 排水路整備  
 イノシシ対策

#### 参加者数

県内：125人  
 県外： 2人  
 計：127人

#### 樹種

ミズナラ、ヤマザクラ

## 被災地若者と地元里山の未来を創る

宮城県南三陸町



### 事業概要

東日本大震災の被災地で タケの侵入や高齢者が多く手入れができない荒れた里山の再生と未来に向けての森を作るため、地元若者や子どもたち、県外からのボランティアなどと一緒に、以下の活動を実施。①放置竹林の伐採。②タケノコの収穫が毎年できるように竹林を整備。③カブト虫やクワガタを採取できるような森を作るための植樹活動。

### 事業成果

県外ボランティアが多く参加してくれたことで、放置竹林の整備ができた。また、地域の方々に参加してくれることにより、持続可能な里山管理ができた。さらに、スポーツ広場「平成の森」の一角に、昆虫の溢れる場所も準備できた。今後も地域の方々と管理を続け、さらに放置竹林や休

耕田などの活用も含めて活動を続ける。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・震災から12年経って関係人口が減って行く今、このような活動を続けてもらえることは、今後の地域での関係人口を増やす取り組みとして大変重要なことである。(地域産直店館長)

### 参加者の声

- ・震災が発生した地域だからでなく、今後このような地域が増えてくる。これからもこの地域との関わりを続けていきながら、他地域でも同じような取り組みができるよう、ここでの経験を活かしたい。(ボランティア参加関東大学生)



下刈り



竹林整備



植樹



タケノコ堀体験

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.5ha  
 植付本数：32本  
 下刈面積：1.6ha  
 除伐面積：0.8ha  
 間伐面積：0.42ha  
 放置竹林整備  
 作業路整備  
 地拵え、整地作業  
 昆虫の森植樹祭  
 タケノコ収穫

#### 参加者数

県内：23人  
 県外：41人  
 計：64人

#### 樹種

ヤナギ類、オニイタヤ、コナラ



# くりこま絆の森植樹プロジェクト

宮城県栗原市



## 事業概要

2008年岩手・宮城内陸地震で被災した栗駒山の生態系回復のためのプロジェクト。土石流による埋没跡地への植樹、その後の保育等の育林活動を通じて、森を復元し、地域住民の繋がりも再構築していく。

## 事業成果

今後の成長が一番効率良い10年間の育苗を終えた大苗を残し半分の面積に完植することができ、植付自体は、一旦終わることができた。今後は苗の成長を見守りつつ、地域と連携し、必要に応じた保育（下刈り、補植）や間伐等を実施に行いつつ、健康な森を目指して育林を続ける。

## 参加者の声

- ・種を拾ってから10年が経ち、関東ではとくに若い林に成長している頃なのに、いかに過酷な条件の現場であったかが改めて想像できる。（苗を種からある程度の大きさになるまで東京で育てていたボランティア）
- ・雨の中、ツルハシを使ってもほとんど掘れないほどの固く転圧された土地だったが、それから思うと、苗が残るようになってきた。（初年度に植樹した方たち）
- ・全体が茶色かった現場が、ようやく部分的に緑色に変わってきたことがうれしい。長かった。（10年携わってきた方）



溝掘りと畝立ての作業



大苗の搬入



植樹に使用する大苗と堆肥



植樹の準備完了

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：1.0ha  
 植付本数：600本  
 下刈面積：1.5ha

#### 参加者数

県内：120人  
 県外：20人  
 計：140人

#### 樹種

コハウチワカエデ、ミズナラ、トチノキ、クリ、サクラ

## ナラ枯れ被害により荒廃した旧薪炭林の再生整備

福島県いわき市



### 事業概要

市街地近くの旧薪炭林を市民の参加により再生し、各種自然体験活動のフィールドとして活用できる場となるよう、数年をかけてクヌギの苗を植樹している。

### 事業成果

植樹を毎年継続することで、森林が保全され豊かな森になっていくことを参加者が実感していた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・薪炭林にするには長期計画が必要のため、今後も継続することが大事である。継続した参加者に加え、新たな参加者を増やしていきたい。

### 参加者の声

- ・植樹祭に参加するのが楽しみです。(毎年参加の親子)



森林整備指導



大径化したナラ枯れ被害木の伐採



植樹の様子



植樹祭に参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.2ha  
 植付本数：100本  
 森林整備指導：3回  
 伐木処理：6回  
 大径木伐採：2回

#### 参加者数

県内：57人  
 計：57人

#### 樹種

クヌギ



## 里山保全整備事業

茨城県古河市



### 事業概要

フィールドである稲宮の森は、コナラ・クヌギの広葉樹が主体の平地林である。今、県内において大発生している害虫被害による立枯れ木が当会のフィールドにおいても発生しており、健全な樹木にも被害がおよぶ恐れや、立枯れによる倒木等により人的被害の危険性もある。そのため、被害樹木の伐採・搬出と伐採跡地に里山の景観向上を図ることを目的にソメイヨシノの植林を実施する。里山の景観向上によって、市民が里山とふれあう機会が増え、里山への関心が高まることが自然環境保全啓発に繋がる。

### 事業成果

伐採跡地の花木の植林により、開花時期には市民の入山も多くみられ、身近なふるさとの里山を保全する認識が高まり、地球温暖化防止に繋がる自然環境保全啓発になって

きた。また、石油・ガス・電気等の料金高騰などにより、薪ストーブの利用が多くなってきた。その薪ストーブの燃料として、伐採材の薪材としての活用が高まってきた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・以前はごみ山としてとらえられ、市民は里山への関心が無くなり荒廃の一途を辿っていたが、里山の保全活動により、里山での保全整備活動や花見観賞、現在では市民の散歩コースに活用されている。

### 参加者の声

- ・保全整備された里山に「ふれあう」ことができた。(市民参加者)
- ・市民参加の観察会の実施などにより里山とのふれあいが多くなってきた。(市民参加者)



下刈り



害虫被害材の有効活用(薪ストーブの燃料)



害虫被害樹木調査体験



秋季の里山観察会で「森の中のコンサート」

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：50本  
 下刈面積：2.5ha  
 除伐面積：0.5ha  
 森林資源活用：5 m<sup>3</sup>  
 秋季観察会  
 春季観察会

#### 参加者数

県内：685人  
 計：685人

#### 樹種

ソメイヨシノ

## 市民による里山の共生と持続保全の実践

茨城県土浦市



### 事業概要

平成27年～令和3年に「里山さわやか隊」が中心となり整備した11haの雑木林の保全のため、持続的な維持管理を目指し、実施体制の整備及び実践を通して得られる保全技術の確立を行う。主な活動は以下のとおり。①伐採、下刈り、落ち葉かき、②倒竹した竹林等の整備、③カシノナガキクイムシによる被害木の除去。

### 事業成果

多様性のある森にするため、伐採、下刈り、落ち葉かきを継続して行い、林床植物等が生えてくる条件が整いつつある。また、倒竹した竹林の整備を実施、カシノナガキクイムシによる被害木の除去を行えた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・毎月の月例観察会実施に当たっては、参加者の安全管理に気を付けないといけないが、さわやか隊が定期的に広

い範囲の下刈りを実施してくれるお陰で小さな子どもも安全に動植物の観察ができています。(教育部会担当理事)

- ・去年の秋にさわやか隊が伐った木が、萌芽更新していたのでうれしかった。(ナラ枯れ対策調査隊の小学生)
- ・下刈りをしていただき、活動がしやすい。いつもありがとうございます。(ナラ枯れ対策調査隊の保護者)

### 参加者の声

- ・里山の林で年々生産されるバイオマス、伐採木の会員等への利用が広まっていくことが、里山管理の力になると感じている。(参加者)
- ・落ち葉かきをしたら、林床にキンランやギンランの花が咲くようになってうれしい。(大学生)
- ・溝さらいをした小川にカワニナやタニシがたくさん生息するようになり、ホタルが飛ぶようになるのではないかと期待している。(大学生)
- ・竹の伐採をして竹林拡大を防いでいる。(学生活動支援者)



下刈り



落ち葉かき



伐倒した木の片づけ



竹林整備に参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈り面積：11.4ha  
伐倒本数：22本  
保全活動：25回

#### 参加者数

県内：178人  
県外：100人  
計：278人



## ちば里山 都市近郊の集える憩いの森づくり

千葉県千葉市



### 事業概要

大規模開発で残された放置林の土中環境を基に環境改善を進める。①タケ類を適切に伐採して竹炭をつくり、土中環境改善に利用。②崖地、道路の土中環境に、竹炭や枝を利用して空気と水の通り道をつくり、排水でなく大地に浸透させる。③近隣住民に、ごみ捨て、産廃物放置、森の環境再生などに目を向けてもらうようにする。

### 事業成果

環境改善された、昔の風景のような崖を見ながら、苗木を育てて、水やりをして、緑の豊かな森にしていく気持ち

が参加者に生まれてきた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・奥深い里山の改善と共通する内容が、都市近郊の里山にも十分活用できる。基礎的な土中環境のレクチャーを作業前にできて良い。今後は、改善変化しているところを中心に、見られると良いと思う。

### 参加者の声

- ・環境改善された場所の、木漏れ日の空間、苗木の成長が楽しみ。



竹ステージ



竹炭



参加者のみなさん



森林整備

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植栽本数：20本  
マウンド造り：6カ所  
竹炭づくり：18袋

#### 参加者数

県内：51人  
県外：10人  
計：61人

#### 樹種

コナラ、クリ、ヤマザクラほか

## 高田松原再生整備事業

岩手県陸前高田市



### 事業概要

東日本大震災で壊滅的な被害にあった名勝・高田松原（岩手県陸前高田市）。2017年以降は地元NPO団体が中心となりクロマツの植樹も始められている。植えられたクロマツの苗の背丈ほどの雑草も生い茂っているため、マツの生育など維持管理を目的として、除草活動を行う。

### 事業成果

クロマツ植樹地の除草活動に併せて震災の様子を学び次世代に語り継ぐことを目的として、地元ガイドと市内の震災遺構を巡り、震災当時の状況や今の復興の様子を学ぶ防災学習も行った。

新型コロナウイルスの影響で、参加者の人数は少なくし

たものの、予定していた活動を行うことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・コロナの影響で、除草活動に参加してもらえるボランティアの数が大幅に減ってしまった。県内の学生を中心に少しずつ増えてきているとはいえ、なかなか手が回らない状況だったため、こうして除草作業に加わってくれるのは本当にありがたい。(地元NPO)

### 参加者の声

- ・震災以降、東北のことは気になっていた。ボランティア活動で参加してみようと思い、今回参加できた。作業だけでなく、震災のことや復興のことなどいろいろと知ることができて良かった。(40代女性)



防災学習



海岸林についての指導



除草作業



参加者のみなさん

### 実績とりまとめ

**作業内容**  
除草：0.1ha

**参加者数**  
県内：12人  
県外：7人  
計：19人



# 秩父市久那上ノ山及びその周辺山林の整備と保全事業

埼玉県秩父市



## 事業概要

かつて田畑だった土地に植えられたスギ・ヒノキが放置され、侵入木・侵入竹等で藪化している森林を整備し、明るい森をつくとともに、ホタルの生息できる里森を目指す。主な活動は以下のとおり。①毎月2回の定例活動。②スギ林(湿地)の林床整理、他のスギ林の除伐、ヒノキ林の枝打ち、下刈り。③「ホタルの沢」の整備とホタルの幼虫を放流。④竹藪の除伐地で「親子植樹会」の実施。⑤地域物産まつりで柚子胡椒・銀杏販売を行い地域住民と会員との交流と協力関係を深める。⑥自然観察、シイタケづくりの試行、山菜狩りなどを実施。⑦雑木林の100㎡2カ所を除伐し遷移調査及び他山林を含めての植生調査を継続。

## 事業成果

新たな対象地ヒノキ林の枝打ち、下刈りを進めている。ホダ木植菌体験の実施、「くんなまつり」(地域物産交流まつり)の参加で地域住民との交流協力関係が前進している。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・作業拠点の作業小屋は、資機材の保管や休憩場所となっており、会員やイベント参加者のコミュニケーションの場にもなっている。活動の成果は少しずつ出ている。今後も里山林の整備と保全に期待が持てる活動となっている。(70代森林インストラクター)

## 参加者の声

- ・今年2月、シイタケのホダ木18本に植えた種菌400が初めて傘を实らせる秋が来る。皆で作った柚子胡椒は酒の肴を実に美味しくしてくれる。こんな”美味しい”作業と、樹木の除伐や間伐、下刈りは欠かせない。必ずしも歓迎ではなかったと言う地主さんたちが、今では地元の祭りの常連として会員を心待ちにしてくれる。その証は山小屋の目の前の雑木林が、奥深くまで太陽光を迎え入れるようになったことだと思う。息の長い活動に期待する。(会員)



下刈り



柚子胡椒作り



植樹体験



親子植樹会に参加したみなさん

## 実績とりまとめ

### 作業内容

植付本数：20本  
 除伐面積：0.5ha  
 イベント(親子植樹会、里山観察会、竹鉢づくり、柚子胡椒づくり、くんなまつり参加、竹炭焼・観賞炭、ホタルの沢づくり、シイタケづくり)

### 参加者数

県内：6人  
 県外：150人  
 計：156人

### 樹種

ヤマザクラ、カツラ、ヤマボウシ

## 千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林の再生事業

千葉県山武市



### 事業概要

津波被害からの減災や大雨による土砂流出の予防と国民の森づくりへの関心喚起から参加機会の創出を目指し、津波被害林で、以下の森林整備事業を実施。

- ・千葉県山武市(海岸防災林)下刈り(植栽エリア4ha)

### 事業成果

新型コロナウイルス感染症による影響によって、市民のボランティア離れが顕在化されている中、当活動においては、これまでの参加者の基盤があり、円滑な活動進捗とな

った。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・苗木の根付きも良く、海岸林再生の成功モデルといえるのではないか。(樹木医)

### 参加者の声

- ・苗木の成長が目視できるので、とても励みになる。
- ・暑い夏の風物詩として、自分の中では下刈りに参加している。



下刈り作業中



鎌で丁寧に刈る



下刈り作業開始時。植樹されたクロマツが草に覆われている



下刈り作業後

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈り面積：4.0ha

#### 参加者数

県内：60人

県外：81人

計：141人



## 富士山南麓の森林復元と環境教育活動

静岡県富士市



### 事業概要

静岡森林管理署との協定に基づき、富士山南麓の国有林におけるヒノキ人工林跡地を広葉樹天然林に復元する活動。広葉樹林への遷移を進めるための天然林構成樹種の補植、維持管理、保育活動を実施。季節に応じて春期に補植、夏期に下刈り・ツル切り・低木類の刈払い等、秋期に種子採取、通年の保育作業として苗木の育成、土壌保全等を行う。補植に使用するために天然林から種子や山取苗を採取、苗木を育成する。同時に自然での活動体験や富士山の自然を観察する機会を設けて生き物、生態系・森の成り立ちに関する知識を深め、環境教育の効果を合わせて持った活動にすることを目標としている。

### 事業成果

毎年入れ替わる学生に、現地で取り組む貴重な体験をしてもらっている。卒業後、社会人ボランティアとして参加する方もいて、継続性と新規性が保てていると考えている。

毎年、新しい企業等からの問い合わせもあり、各主体の事情にあわせて参加していただけるよう、今後も柔軟に対応して継続的な活動参加、協力関係を構築していきたい。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・新型コロナの影響で活動の企画に難しい面があるが、屋外での活動を継続して行っていることで、状況に応じた活動が計画しやすく、組合員に広く声をかけて希望に応じて参加してもらえるので、進めやすい。(自主活動として参加している労働組合本部の担当者)

### 参加者の声

- ・学校のレポート作成のため参加したが、実地でいろいろな話を聞くことができ参考になった。(大学生)
- ・子どもの体験学習に良いと思い参加したが、家族全員で楽しく活動でき、新鮮な体験だった。(社員ボランティア)
- ・会社の社会貢献事業提案に参考になる体験となった。(会社員50代女性)



自然観察会



参加したみなさん



育成苗の仮植え



種子採取

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.2ha  
 植付本数：350本  
 下刈面積：0.6ha  
 自然観察会：5回  
 種子採取、種子の調整・育苗ほか

#### 参加者数

県内：19人  
 県外：188人  
 計：207人

#### 樹種

広葉樹20種

## 広葉樹の植樹及びシカの食害防止柵設置事業

東京都八王子市



### 事業概要

目的は、広葉樹と針葉樹が混在する豊かな森に誘導するための森林整備。主な活動は以下のとおり。①令和4年秋に107本の植栽とシカの食害対策としてツリーシェルターを設置。②令和5年春に160本の植栽とシカの食害対策として防獣ネットとツリーシェルターを設置。

### 事業成果

令和4年秋と令和5年春には、ツリーシェルターを施したことにより、植樹した苗木はシカの食害から守られている。防獣ネットは、地面との隙間から小動物が紛れ込む

スクがある。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・傾斜のある植栽地に関して、防獣ネットの設置は困難を伴う。ツリーシェルターは苗木1本毎に取り付ける必要があり、工数がかさむがシカ等の食害から守るには有効と考えられる。

### 参加者の声

- ・森の多様性のために10種類ほどの樹木が植樹されている。一見すると枝の切れ端と思うほどだったが、この木がやがて大きな木になるか考えると、感慨深いものがある。



植栽



苗木にツリーシェルターを被せる



防獣ネットを設置



植樹祭に参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.6ha  
植付本数：267本  
下刈面積：0.3ha

#### 参加者数

計：370人

#### 樹種

ヤマボウシ、クヌギ、エノキ、コナラ、イタヤカエデ、イロハモミジ、オオモミジ、ヤマザクラ、カツラ、ミズキ、ケヤキ、クリ、トチノキ



## 都市近郊の新しい里山づくり

東京都八王子市



## 事業概要

東京都八王子市の清水入り緑地は、タケとササに覆われ、照葉樹林が繁茂して暗く、ほとんど人が入らない森だった。地域の人が森林浴などで入りやすく、親しみのある明るい森にするため、4年前からタケの伐採とササの除去の活動をしている。コロナの影響で活動を縮小していた時期もあったが、今年は、地域住民とともにタケの伐採跡地に広葉樹の苗を植樹した。

## 事業成果

伐採したタケで、ベンチやテーブルを作り緑地内に設置し、一部は学生たちが中心となり『キャンドルリバー』の催しに使われた。伐倒木の整理やササ刈りには、呼びかけにより、地域住民が毎回必要な人数が集まってくれた。植樹祭にも老若男女、子どもたちが丁度良い人数で参加してくれて盛り上がった。来年も植樹祭をする予定地があるため苗床の再構築も実施した。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・何よりも緑地が明るくなり、中に入ってみようと思う気になった。
- ・近隣の小学校の先生と、綺麗になった清水入り緑地を環境教育のフィールドとして使おうと話している。
- ・土、日曜日に散歩をすると、森を手入れされている姿が見え、大変な仕事をしていただいていると頭が下がる。

## 参加者の声

- ・時々参加であったが、適度に汗をかき、環境保全活動に参加でき、充実した時間を過ごせた。
- ・子供食堂に来る生徒を連れて参加したが、子どもたちがとても生き生きとしてくれていたのが、うれしかった。
- ・遠くから森林整備に参加してくれる人も多く、八王子市民としては地元が頑張り、市当局とも良く話して、今後の持続可能な運営システムをどう作るか、考えなくてはいけないと思った。



竹材で製作したベンチの設置



伐採した木の整理



植樹



植樹祭に参加したみなさん

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：80本  
 下刈面積：5ha  
 間伐面積：1ha  
 竹材によるベンチ製作

## 参加者数

都内：270人  
 都外：60人  
 計：330人

## 樹種

広葉樹

# 北浅川上流地区の森にホテルを飛ばそう!

東京都八王子市



## 事業概要

目的は、森林内の土壌改善を通じて沢を復活させ、森全体を健全化させるとともに、水源涵養機能を高めながら生物多様性の高い豊かな森を創出する。主な活動は、①沢の流れを停滞させている箇所(枝や土砂等)の除去、②沢周辺の法面で表土が流出しやすくなっている箇所に、枝葉を利用して小規模な土留めを施工、③炭や有機物を活用した土壌改善、④溝や穴を掘ることでの大地の呼吸口づくり、⑤活動エリアの危険木等の伐採等。

## 事業成果

沢の水の流れと、その両側の法面の環境改善について、地形を観察して地下水の動きなども考慮しながら並行して造作をした。その結果、沢の水量が増え、6月には本流(北浅川)周辺からホテルが数頭飛来し、産卵しているのを確認

することができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・ホテルの会の基本造作である森林の土中環境改善作業により、カシノナガキクイムシのマスアタックを受けたコナラの大木47本の枯死率をゼロに抑えたことは評価できるが、科学的なエビデンスがない以上、行政に働きかけたり、自分たちのフィールドで試すこともできないのが非常に残念。(西多摩自然フォーラム会長)

## 参加者の声

- ・「あっ、山の中をどんどん綺麗にしていくって、ホント、こういうことなんだな」と、一つひとつに喜びを感じながら、久しぶりにいろいろな体験をさせて頂いた。(一般参加70代女性)



「水を動かす講座」座学の様子



沢の整備



ナラ枯れ対策\_森林の土中環境改善作業



森林資源活用(林内落枝利用炭化)

### 実績とりまとめ

**作業内容**  
 樹勢回復：47本  
 森林資源活用：2 m<sup>3</sup>  
**参加者数**  
 都内：147人  
 都外：41人  
 計：188人



## 「山の学校」～水が繋ぐ地域と世代～促進事業

山梨県道志村



### 事業概要

目的は、未来を担う次世代のために、森林が有する多面的機能の向上や地球温暖化防止対策、国土保全などへの具体的な行動の取り組み案として、「山の学校」を継続、開校することである。主な活動は、水源林保全を体験学習する宿泊型・日帰り型「山の学校」の開校。水源地保全学習をはじめ、間伐体験や上下流域の交流、川上地域食材の採集と調理体験等を実施。

### 事業成果

今年度は日帰り型「山の学校」を合計3回実施することができた。参加者の層や範囲も以前より広がり、子どもだけでなく大人の参加者も増えた。プログラムは、間伐体験のほか、植樹の体験を組み込んだことにより、山を形成する樹木の成長過程を身近に感じることができ、それにより環境保全に対する興味や、山を育むことが簡単ではないこと

などを実感してもらえたように感じる。体験終了後の感想シートには、山の保全に関する意欲的な意見が多く寄せられていた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・大人も興味が湧く内容なので、感染症がさらに落ち着きを見せた頃には対象を拡大し、体験時間を長く取ることのできる宿泊型「山の学校」開校を希望する。今後は、感染症との兼ね合いを調整することを課題として事業を推進していただきたい。(参加希望団体)

### 参加者の声

- ・今度は「山の学校」で山の中をきれいにしてみたい。(参加者児童)
- ・木を伐ることが山や水のためになるとは知らなかった。他にも知らないことがたくさんあると思うので知りたいと思った。(参加者大人)



植樹体験



参加者みんなで小径木運び



枝落とし体験



大径木間伐

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：6本  
山の学校：3回  
植樹体験、体験木工、間伐体験  
ほか

#### 参加者数

県内：65人  
計：65人

#### 樹種

スギ

## 相模湖若者の森づくり、知足の森整備活動

神奈川県相模原市、東京都小金井市、江東区



### 事業概要

主たる活動地の長福寺や檀家さん所有林、新規にお寺脇を流れる沢沿い下流の森、小手澤の森の整備活動も開始した。同地に早生樹であるセンダンを植樹し、成長のモニタリングや同地域から採取したタネから苗を作り再造林できるように準備を進めた。また、相模原市SDGs担当課、小中学校に加え東京学芸大とも連携を深め、間伐材を直接加工できるデジタルファブリケーションにも挑戦し、木育、製作活動を行った。

### 事業成果

定例活動は毎回10～20名の若者で、小金井市の事業も受け入れることになり、普段とは違う参加者が参加。製材乾燥した製作物で地域へ寄付を行うまでになっている。センダンの取り組みも進み、今後土砂崩れの区画などに植樹するために苗を育てている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・中学生のみなさんはパソコン上での作画に慣れているので、作画ツールはほとんど自力で使いこなしている。つまずきがちなのは、木目の向きと刃の当たり方のアナログの木工についての知識だと思うが、こちらも一度経験すればすぐに身につくので、私は多くを教えずにヒントを出すだけで見守るくらいがちょうど良いと思っている。(デジタル木工を指導して下さった講師の先生)

### 参加者の声

- ・間伐はクラウドファンディングで支援していただいた方と一緒にいった。参加者の方たちと交代で木を少しずつ伐っていき、チルホールを使って周りの木に引っかからずに倒せて良かった。いつもはロープで引っ張らないといけないのでうまく伐れてうれしかった。丸太を軽トラックに乗せる時は、重くて運ぶのが大変だった。(中学3年生男子)



センダンの苗づくり



間伐作業に参加したみなさん



ShopBotで作ったロッカー内整理棚



積み木イベント

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：50本  
間伐面積：2ha  
木工イベント、積み木イベントほか

#### 参加者数

県内：120人  
県外：480人  
計：600人

#### 樹種

センダン



## 親子が安心して遊べる「フーのきの森」整備事業

新潟県魚沼市



### 事業概要

目的は、「絵本の家ゆきぼうし」設立から30年近く経ち、管理が行き届いていない森や老朽化が進む設備を、利用する親子が今後も安心して楽しめる場所として残していけるようにすること。主な活動は以下のとおり。①下刈りなどの森の整備と、森の資源を用いたワークショップ、②森の入り口の階段周りの整備（足元が滑ることの防止、親子が手を繋いで行き来できる道幅の確保）、③植樹による森の保全と関わりの醸成。

### 事業成果

森の入口の階段の間口が広がり、視界が開け、行き来がしやすくなったことにより、利用者が森へ行きやすくなった。また、森の資源を用いたガーランド作りのワークショ

ップや、植樹により、自然とふれあう楽しさや、森との関係性を深めることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・森へのアクセスや上からの見通しが良くなり、より活用しやすくなった。県外からの小中学生の教育旅行時のウォークラリーや、大人がのんびりとした時間を過ごすトリートの会場としても今後活用していけそうだ。(魚沼市観光協会)

### 参加者の声

- ・普段、なかなか機会のない植樹に、子どもと一緒に携わることができて、良い経験になった。手書きのプレートも付けたので、今後も成長を見守って行きたい。(植樹イベント参加者、30代女性と未就学児)



階段工事



ガーランド完成品



植樹会



植樹会に参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：1 ha  
 植付本数：39本  
 下刈面積：1 ha  
 除伐面積：0.2ha  
 森林体験、階段整備、植樹会ほか

#### 参加者数

県内：29人  
 計：29人

#### 樹種

サクラ、クリ、イタヤカエデ、  
 ジュンベリー、アジサイ、  
 サルビア

## 丹波山みんなの森づくり・防災事業

山梨県丹波山村



## 事業概要

事業の実施場所は急峻な箇所やがれ場があり、崩れる恐れがあるため、どのような整備をするべきか専門家の意見を取り入れながら、住民、企業が連携して防災の森づくりを行う。また、体験を通じた森の利活用や生業づくりを目指す。主な活動は以下のとおり。①1年目の現状評価及び森林全体の整備・活用方針を具体化する全体デザインの検討、②遊歩道の改修計画の策定・実施、③防災を目的とした森林整備、④枝葉を活用した精油の抽出等に関する勉強会、⑤間伐材を活用した木製品製作ワークショップ。

## 事業成果

役場、村民、外部からの移住者、ボランティア参加者の意識や活動が協力した活動へと進化していった。特に企業の環境活動としての森林整備活動への理解が深まり、資源の活用が進んだ。樹木の枝葉を使い、アロマオイルや除菌

剤の製造なども行われている。同時に環境保全、地域活性化などを真剣に考えた活動、積極的なボランティア活動となり、苗木が枯れたなどの理由から放置されたネット改修や、荒れて水の通り道となった登山道などの整備も実施された。その活動では、森が荒れ、土砂崩れの要因になりそうなメカニズムを知ると同時に、その補修を行うなど、参加者の学びも多かった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・訪れていただき、真摯に作業にも取り組んでいただき、今は感謝している。(地元村民)
- ・捨てる以外なかった枝葉を資源として活用できることを学んだ。(地元林業家)

## 参加者の声

- ・参加するごとに地元の方たちとお話ができ、森の循環や役割が理解できた。(企業参加者)



下見・打合せ



座学



除伐



参加したみなさん

## 実績とりまとめ

## 作業内容

除伐面積：0.8ha  
森林資源活用：約2㎡  
歩道整備：400m

## 参加者数

県内：30人  
県外：65人  
計：95人



## 里山林保全及び自然に親しむ活動

三重県いなべ市



### 事業概要

目的は、豊かな自然に親しみ、放置された里山林を保全し、間伐材を燃料として利用する。主な活動は以下のとおり。①講師を交えて野鳥・樹木観察を楽しみながら里山を散策し、里山工作遊びを実施した。②針葉樹林の間伐の実施。いなべ市市民活動センターと連携して森林保全啓発を図った。③炭焼き技術の継承、薪作りを実施した。

### 事業成果

炭焼き作業を公開し、市民が興味関心を抱いた。森林空間に光が差し下層植物が育っている。間伐材を利用して生

産した薪を地元のキャンプ場に提供できた。自然に親しむ活動は好評で継続して取り組んでいく。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・事業場所として、木育の森に加えて周辺の区有林も間伐作業を実施してきた。作業状況を知る地区役員には森林空間が明るくなり喜んでいただいているが、一般市民はまだ関心が薄いのが課題である。

### 参加者の声

- ・ヒノキ間伐材を使ったコースターや木箱作り、早春の樹木に触れる親子の姿は嬉嬉としていて、好評であった。



里山工作遊びイベントで木箱作り



薪作り



炭焼き作業



間伐作業

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.02ha  
 植付本数：10本  
 下刈面積：0.3ha  
 間伐面積：0.5ha  
 イベント：2回  
 木炭生産：270kg  
 薪生産：4m<sup>3</sup>

#### 参加者数

計：55人

#### 樹種

モミジ

## 都市と山村の交流による森林整備と薪作り活動

三重県津市



### 事業概要

目的は、所有者の高齢化等から手入れ不足となっている雑木林の間伐と間伐材の活用を通して都市と山村の交流を巻き起こし、都市住民のボランティアとともに地域の山林の整備を行うことである。主な活動は以下のとおり。①作業地近くまでの林道の整備、②林分までの作業道の整備、③間伐、④玉切り・運び出し、⑤薪割り・火おこし体験。

### 事業成果

森林所有者との交渉を経て、継続して森林整備活動をさせてもらえるフィールドが見つかり、下刈り・間伐・薪作りの活動ができた。チェーンソー講習を受講し、一緒に活動していくコアスタッフも3名見つかり、来年度以降も活動を継続できる見通しが立った。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・高齢で足を怪我してしまった上、薪を使う機会が減ってきたため、所有林へ足が遠のいていた。若者に活用していただけるならありがたい。ぜひ、活動を続けていって欲しい。(森林所有者)

### 参加者の声

- ・親子で薪割り体験をする機会をいただき、うれしかった。デジタルで様々なシーンを擬似体験ができる今の時勢で、五感をフル活用して体験できた薪割りの時間は、親としても充実した楽しい時間となった。特に、息子たちは初体験なこともあり、苦戦しながらの薪割りではあったが、彼らが懸命に取り組む姿や、思いのほか、根気があることを発見できて新しい一面を知ることができた。自然とふれあえる貴重な体験であり、学びとなることも多い時間だったと感じる。(親子薪割り体験参加者30代女性)



作業道の倒木処理



丸太運び出し



参加者のみなさん



薪割り体験

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈り面積：0.1ha  
 間伐面積：0.5ha  
 森林資源活用：3.0㎡  
 玉切り：1.5㎡  
 薪割り：1.5㎡  
 作業道整備

#### 参加者数

県内：48人  
 県外：3人  
 計：51人



## 地域性苗木の育苗

滋賀県高島市



### 事業概要

目的は、地域の遺伝子資源を守り、地域性苗木の育苗と山への植樹を通して、生態系機能の備わった多種共存の森林を再生するものである。主な活動内容は以下のとおり。①地域の山の木から種を採取した「地域性苗木の育苗」、②自然に忠実な森作りを行うための「森林の現況調査」。

### 事業成果

休耕田に育苗する圃場を整備し、苗木の準備が進んでいる。活動を各新聞社、メディア、ラジオ等に取り上げられ認知度が上がり、市外、他府県からも参加があった。森林の現状に問題意識を抱き、自分の手で何かしたいという自発的なメンバーが増えたことは、大きな成果である。

### 事業をよく知る関係者の声

・各回の活動内容が全体の活動に対してどのような位置づけなのかを示すことができれば良い。(林業従事者)。

- ・親子連れ対象のハイキング、生杉近辺の山歩きなど、山の現状を学べる環境教育や啓発活動にも力を入れていてはどうか。(森林組合員)
- ・地元の小中学校とタイアップし、地域の人々の参加を促すことで地域に根差した活動を目指すと良い。(森林インストラクター会員)

### 参加者の声

- ・活動を通して、今まで点と点だったものが繋がり、自分が生きている世界がぐっと広がった。この体験は、宝物。(30代女性)
- ・森歩きで下層木の種類の少なさと、倒れた木々たちの谷の風景に衝撃を受けた。自然とヒトの共生を考えるきっかけになった。(40代女性)
- ・現場を歩くとシカの食害の大きさを感じた。自分の住む地域でも同じようなことになっていることに気づいた。森が自然な形で残るよう、森が森らしく存続できるようにできることをしたい。(30代男性)



種拾い



圃場の周りに防獣ネット設置



ナナカマドの鉢上げ



圃場に並ぶ苗

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

圃場整備：外周100m  
種子採取：3回  
育苗作業：6回  
森林調査：2回

#### 参加者数

県内：135人  
県外：18人  
計：153人

## 里山整備事業

兵庫県加東市



### 事業概要

当地域では農業・林業が衰退し、過疎化が進んでいる。里山地域の森林活動を通じて、地域の活性化に貢献することや温暖化の要因であるCO<sub>2</sub>の吸収、森林資源生育、野生生物の生存エリア確保と植物の生育、災害発生防止、生物多様性維持などを目的とする。主な活動は以下のとおり。①下刈り、枯木・形状不良木除伐、②雑木除伐、スギ・ヒノキの間伐、③生物調査、④他団体、フリースクールとの交流会など。

### 事業成果

本年度は前年実施分より隣接の森林整備を実施。スギ、ヒノキの間伐よりも繁茂した雑木、雑草の下刈り、倒木、雑木除伐、形状不良木除伐が主たる活動であった。今回の森林整備により森林機能の回復により、地域活性化に寄与で

きれば良いと考える。間伐材の有効利用先をさがしている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・かつては、地域住民と寺を中心にしたコミュニティが守られていたが、高齢化と過疎化が進み、活性が失われているため、森の整備、PR活動により外部からの市民、地域住民との交流が進めば良いと考えている。(寺関係者)

### 参加者の声

- ・多様な生物の出会い、花・自然観賞機会が増えれば、PR活動の原資になる。今後の展開増になるのではないか。(生物調査参加者)
- ・生徒たちと自然とのふれあいにより学校生活の多様化に協力いただきありがとうございます。今後も継続していきたい。(フリースクール関係者)



「里山整備事業」看板設置



生物多様性グループとの交流



フリースクール生徒との除伐作業



参加したフリースクールのみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：2.5ha  
 樹勢回復：7,000本  
 下刈面積：2.5ha  
 除伐面積：2.5ha  
 除伐本数：6,000本  
 間伐面積：2.5ha  
 間伐本数：500本  
 階段・通路整備：10m  
 生物調査、交流会ほか

#### 参加者数

県内：197人  
 計：197人

#### 樹種

スギ、ヒノキ、広葉樹



## わくわく再生! 冒険の森

奈良県奈良市



### 事業概要

矢田山遊びの森自然公園内の冒険の森エリアの再生事業として、森林内の整備を行い、子どもたちが安心して遊べるフィールドへ復活させる。今回整備する場所は、以前から、地滑りやナラ枯れ、風倒木の影響で、立入禁止措置が取られた地域である。主な活動は、ナラ枯れ木、風倒木等の危険木を取り除く作業。

### 事業成果

風倒木や枯損木、足元は篠竹で覆われ、容易に入れない場所であったが、整備で危険な状況を取り除くことができ、立入禁止が解除できた。篠竹等を刈り取り、明るく、遠くまで見通すことができるようになり、遊歩道整備によって、子どもが気軽に入ることのできる場となった。また、整備によりアサギマダラが好む、フジバカマの群生地が見つか

った。今後アサギマダラの観察会等を実施したい。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・森林整備により立入禁止が解除になり、森の幼稚園の子どもたちの活動場所が増えたことはうれしい。しかし、ササがすぐ繁殖することから、定期的に草刈り等を行っていく必要がある。(奈良県関係者)
- ・樹名板を設置していただいて自然観察が楽しみ。(森の幼稚園保護者)

### 参加者の声

- ・最初、森林に入ったときは、藪の世界でどうなることかと思ったが、作業を進めるごとに明るくなって行くことがやりがいに繋がった。(70代男性)
- ・遊歩道の段差解消のため、自然に配慮した階段ができて良かった。(60代男性)



森林整備



植樹



ナラ枯れ大径木伐採



階段設置

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：14本  
 下刈面積：1.3ha  
 除伐本数：56本  
 遊歩道整備：120m  
 自然観察会：1回  
 たたき染体験：1回  
 樹名札設置：15枚  
 階段設置：1カ所  
 藤袴群生地整備：500㎡

#### 参加者数

県内：133人  
 県外：12人  
 計：145人

#### 樹種

イチイガシ、ヤマザクラ

## 景観と防災に考慮した「えがおの森」づくり

福岡県八女市



### 事業概要

目的は、地域の交流施設に隣接するスギ林を、都市住民と地域住民の連携によって景観と防災に配慮した広葉樹の森林に整備することである。主な活動は以下のとおり。①スギ伐採跡地の地拵え、②都市住民と地域住民による植樹イベント。

### 事業成果

対象地は枯損木が目立ち、台風の度に道路に倒木が発生していたが、本事業により大学専門家の助言を得ながら地域住民らと植栽計画を立案し、伐採跡地に低木の常緑樹、高木の落葉樹、間に紅葉を楽しめる樹種を計355本植栽することができた。地域の交流施設に隣接した区画であり、地域住民と都市住民が連携して取り組んでいることが内外から

も分かりやすく、今後も交流連携の場となることが期待される。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・倒木や冬季の路面凍結の原因となっていた場所が、明るく景観の良い森に生まれ変わることを期待している。地元住民だけではなかなか実施できなかったと思う。(70代農家、地元住民)

### 参加者の声

- ・予想以上に険しい斜面だったので不安があったが、やりはじめるとすごいスピードで作業が進んだ。楽しかった。また来たい。(20代男性)
- ・クヌギは20年くらいで大きくなると聞いたのでまた見に来たい。(小学生)



「えがお」で植樹



植樹地



設置した看板



広葉樹の植樹に参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.12ha  
植付本数：355本  
地拵え：0.12ha

#### 参加者数

県内：42人  
計：42人

#### 樹種

クヌギ、ホウノキ、コブシ、  
エゴノキ、イロハモミジ、西  
洋シャクナゲ、サカキ



## 養蜂から見える癒しの森里山再生活動

熊本県八代市



### 事業概要

目的は、里山に新たな息吹を吹き込むため、花木・広葉樹等蜜源を植樹・育成し、様々な世代の人が集い学習・体験ができる癒しの森を目指すことである。主な活動は以下のとおり。①除草・除伐作業、②植樹会、③除伐した木材を利用した巣箱づくり・シイタケ駒打ち体験、④森にある材料を利用したリースづくり、⑤ミツバチ研修会。

### 事業成果

幅広い年齢層の地元の方が関心を持ち、防獣ネット張り・植樹・シイタケ駒打ち・蜜箱の設置やミツバチ研修等の活動に参加してくれた。植樹に参加した20代の方が「次の活動はいつなのか」と楽しみにしてくれる。少しではあるが、「がくゆうの森」の認知度が上がったと思う。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・森の整備は継続が大切である。しかし、作業は重労働で、慣れない機械の取扱いには十分な注意が必要だ。安全に作業活動するためには、勉強会などで知識を持ち、安全第一で行う。若い世代の方に参加してもらえるように周知する方法を模索する必要がある。

### 参加者の声

- ・植樹は初めての体験だったが楽しかった。森の中は心地良かった。(20代夫婦)
- ・森の中の散歩は楽しかった。(小学生)
- ・足場が不安定なところもあるので、長靴は必要だと思った。(70代女性)
- ・活動の後の森の中での食事は美味しかった。(50代女性)



植樹



ミツバチ研修会



シイタケ駒打ち



リース、巣箱づくりに参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

- 植付面積：0.1ha
- 植付本数：64本
- 下刈面積：0.05ha
- 除草作業：1.0ha
- 森のきこり体験：1回
- ミツバチ巣箱製作：1回
- リースづくり体験：1回
- 植樹用の穴掘り：2回
- 防獣用の杭とネット張り：2回
- シイタケ駒打ち：1回
- ミツバチ研修会：1回
- エビネラン観賞会：1回

#### 参加者数

- 県内：72人
- 計：72人

#### 樹種

- ソメイヨシノ、イロハモミジ、カエデ、イチョウ、センダン、クヌギ、ケヤキ、キンモクセイ、ヤマボウシ、コブシ

## 番所鼻海岸防災林保全活動

鹿児島県南九州市



### 事業概要

南九州市番所鼻海岸防災林の機能強化を図るため、以下の活動を行った。①侵入竹、ツルの除伐・除去作業。②作業で生じたギャップに植樹。③保健保安林としての機能増進を図るため歩道開設と地域産のスギを使用した木製遊具の作製・設置。

### 事業成果

活動に新たな地域団体の参加があった。このような民間の動きに呼応して南九州市の方でも活動を支援するような事業の取り組みが計画された。

### 事業をよく知る関係者の声

・緑の募金事業の助成でこのような活動ができて大変ありがたいが、市の方でも側面からこの活動を応援していきたい。(南九州市)

### 参加者の声

・地域にとって大切な防災林であり、観光地でもある森林がみんなの力で整備されていくことは、我々の会の目的と完全に一致しており、大変うれしい。(颯娃おこそ会長)



丸太遊具で遊ぶ子どもたち



防風垣製作



植樹を実施



看板を設置

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：180本  
 下刈面積：0.2ha  
 除伐面積：0.2ha  
 歩道整備：44.5m  
 防風垣製作：12m  
 丸太遊具、リス道づくり

#### 参加者数

県内：84人  
 計：84人

#### 樹種

モチノキ、ヤマモモ、ヤブニツケイ、ウバメガシほか